

大学共通コア科目でのプレゼンテーションのルーブリック

評価の観点	評価の尺度		
	十分に到達できている	一部は到達できている	かなりの努力を要する
課題把握・理解	課題の背景と内容を、さまざまな角度から考えて把握、理解しており、明快に説明している。	課題の内容は理解しているが、背景の理解は不十分であり、課題を十分に把握していない。	課題の背景と内容を理解して、分かりやすく説明する必要がある。
論理構成	プレゼンテーションは論理的な順序で十分に構成され、視聴者は内容を容易に理解することができる。	プレゼンテーションは論理的な順序で構成されているが、視聴者は部分的にしか内容を理解できない。	プレゼンテーションは論理的な構成ができていないため、視聴者が内容を理解できるようにする必要がある。
資料・スライドの質	十分に説得力のある資料・スライドであり、資料は信頼できる複数の情報源から選択して正しく引用している。	説得力のある資料・スライドであるが、情報源の選択や引用方法は部分的なものである。	説得力のある資料・スライドを作成するとともに、情報源の出典を明確にする必要がある。
プレゼンテーション技術	言葉の選択が適切であり、堂々と聴衆を見ながら、声量やスピード、間の取り方が適切である。非常にわかりやすく効果的なプレゼンテーションになっている。	言葉の選択は適当であり、聞き取ることはできるが、話し方の不明瞭さ、話すスピード、アイコンタクトなどが不十分である。	言葉の選択や話し方の工夫が必要である。話すスピードやアイコンタクトの方法など聴衆にわかりやすくプレゼンテーションをする必要がある。
質問への対応	質問の意味を正確に理解しており、応答が非常に的を得ている。質問に対しても誠意をもっており、やりとりがとて建設的である。	質問を正確に理解しているが、応答が的を得ていない。質問に対して誠意をもっており、やりとりが建設的である。	質問を正確に理解していないため、応答が的を得ていない。質問者や聞き手に納得させるような対応をする必要がある。
グループのプレゼンテーション技術	各メンバーは等しく担当する機会があり、またメンバーは互いに敬意を払い、必要に応じて助け合っている。	各メンバーに割り当てられた発表時間や内容に偏りがあるが、グループのメンバーは概して互いに敬意を払い、助け合っている。	特定のグループメンバーに役割が集中しないようにする必要がある。また、グループメンバーは互いに敬意を払い、助け合う必要がある。